

ご挨拶



会員・賛助会の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

会 又日頃より本会の会務運営にご理解、ご協力いただき感謝申し上げますと共に先日開かれた第48回総会に際しましては、新型コロナウイルスの影響もあり出席者を極力減らす初めての形式とさせていただいたにもかかわらず、ご協力いただきまして改めてお礼申し上げます。

お陰様で総会におきまして全議案承認可決いただき令和2年度をスタートすることが出来ました。

今年3月よりコロナ対策として事務所登録等の受付については郵送での申請をお願いし窓口対応を減らすことが出来ました。職員もその様な大変な中業務に励んでいただいていることに感謝申し上げます。

昨年9月の終盤の風水害の被災住宅無料相談におきましては支部長はじめ会員の皆様のご協力ももち令和元年の事業を無事終了することが出来ました。

被災された方々の苦労は未だに続いており、これからも公益社団として係わって参る所存です。

風水害対応、コロナ対応の中何とか令和元年度から令和2年度へと事業を継続していますが会務の運営については以前のおりとはいかず支部・委員会の皆様にご迷惑をかけており大変申し訳ございません。

当面の間は会議は10名以下、講習会等は会場の収容人員の半数以下での開催をお願いしているところです。理事会におきましても4月、6月においては従来の対面形式から書面決議とさせていただきました。この形式ですと活発な意見交換が出来ない為8月の理事会より会場を協会会議室から収容人員が50名以上の大きな会議室を借り訴訟や叙勲等について協議して参ります。

ISHを含めた訴訟問題については、会員の声に真摯に耳を傾け対処し円満な解決を目指していきたいと思えます。

来年度は役員改選の年となります。本部・支部長はじめ来年度の組織体制を築き一丸となって本協会の存在意義を確認し会勢の拡大を引き続き図っていかねばなりません。

幸いなことに青年委員会を新たに立ち上げる事が出来ましたので若い方のエネルギーをいただきながら今年度進んでいきます。

先の見えない中ですが会員皆様のお力をお借りし本部役員一生懸命本年度の事業に邁進して参りますので変わらぬご協力をお願い申し上げます。

風水害、コロナ等で事業に支障が出ている会員の方もおいでと思いますが協会でも出来ることがありましたら申し出ていただければと思います。

本年度もよろしくお願いいたします。

公益社団法人千葉県建築士事務所協会 会長
金子 康男